

## 著者人工股関節関連 文献 51

- 1). 吉峰史博。人工股関節全置換術後可動域の検討—第1報：可動域算出のための数式の作製—。リウマチ科 1999:22:587-594
- 2). 吉峰史博、星野寛嗣、三笠元彦、今本雅彦、谷戸祥之。人工股関節全置換術後のカップセーフゾーンの意義—体内可動域との関係。整形外科 2000:51:470-474
- 3). 吉峰史博、星野寛嗣、三笠元彦、今本雅彦、谷戸祥之。カップ及びネック位置と人工関節自身の可動範囲に由来する人工股関節の術後可動域について—統計学的処理による検討。整形外科 2000:51:1347-1351
- 4). 吉峰史博、星野寛嗣、三笠元彦、今本雅彦、谷戸祥之。人工股関節全置換術後のカップセーフゾーンの検討—その形状およびoscillation angle,ネック前捻角との関係。整形外科 2000:51:1595-1598
- 5). 吉峰史博、星野寛嗣、三笠元彦、今本雅彦、谷戸祥之。人工関節自身の可動範囲、カップの前方開角、外方開角、ネック前方開角の変化に対する人工股関節全置換術後の体内可動域の特徴。整形外科 2000:51:1725-1729
- 6). 吉峰史博。人工股関節全置換術後のカップセーフゾーンの検討—体内可動域との関係。Hip Joint 2000:26:522-525
- 7). 吉峰史博、井口理、山根誓二、大沼哲也、奥山邦昌、星野寛嗣。人工股関節全置換術後のカップ前方開角とネック前捻角の2因子が可動域に及ぼす影響—最適ネック前捻角の検討。整形外科 2001:52:711-716
- 8). 吉峰史博、井口理、山根誓二、奥山邦昌、星野寛嗣。人工股関節での3種の測定法によるカップの前方開角値の違いと、側臥位用カップポジショナーによるカップ位置。整形外科 2001:52:835-841
- 9). 吉峰史博。人工股関節での3種の測定法によるカップの前方開角値の違いと側臥位用カップポジショナーによるカップ位置。Hip Joint 2001:27:435-439
- 10). 吉峰史博、二木康夫。人工股関節のカップ-ネック インピンジメント点のカップ内位置。日本人工関節学会誌 2001:31:91-92
- 11). 吉峰史博、二木康夫。インピンジメントを起こさず必要可動域を満たす人工股関節可動範囲(oscillation angle)。日本人工関節学会誌 2001:31:93-94
- 12). 吉峰史博、井口理、山根誓二、二木康夫、奥山邦昌、星野寛嗣。人工股関節におけるインピンジメントを起こさず必要可動域を満たす人工股関節可動範囲(oscillation angle)およびカップ-ネックのインピンジメントが起こるカップ内位置の検討。整形外科 2001:52:1716-1723
- 13). Yoshimine F, Ginbayashi K. A mathematical formula to calculate the theoretical range of motion for total hip replacement. J.Biomechanics 2002; 35: 989-993.
- 14). 吉峰史博。単純X線像、CT像から人工股関節全置換術後のカップ,ネックの設置位置を算出する方法について。Hip Joint 2002:28:448-452
- 15). 吉峰史博、井口理、二木康夫、奥山邦昌、畔柳裕二、星野寛嗣。人工股関節全置換術後患者の理論上のカップ-ネック インピンジメントまでの可動域を単純X線像、CTから求める方法について。整形外科 2002:53:1595-1602
- 16). 吉峰史博。人工股関節全置換術後可動域に及ぼす因子。リウマチ科 2002:28:455-462
- 17). 吉峰史博、井口理、二木康夫、奥山邦昌、畔柳裕二、星野寛嗣。人工股関節の可動域に及ぼす骨頭径の影響。整形外科 2002:53:1721-1727
- 18). 吉峰史博、二木康夫。人工股関節における骨頭径による可動域の変化。日本人工関節学会誌 2002:32:197-198
- 19). 吉峰史博、井口理、二木康夫、森末光、畔柳裕二。人工股関節のネック径がoscillation angle、可動域に及ぼす影響。整形外科 2003:54:343-349
- 20). Yoshimine F. Author's response. J.Biomechanics 2003:36:617-618
- 21). 吉峰史博、井口理、二木康夫、奥山訓子、森末光。カップの形状、ネック径、ヘッド径がoscillation angleに及ぼす影響。整形外科 2003:54:1593-1597
- 22). 吉峰史博、二木康夫。カップの形状、ネック径、ヘッド径が人工股関節自体の可動範囲(Oscillation angle)に及ぼす影響。日本人工関節学会誌 2003:33:11-12
- 23). 吉峰史博、井口理、二木康夫、奥山訓子、森末光。X線像、CTからみた正常股関節の骨形態と骨性インピンジメントまでの可動域と人工股関節との比較。整形外科 2004:55:107-110
- 24). 吉峰史博。立位時骨盤後傾患者において、臥位における適切なカップ設置位置の検討。Hip Joint 2004:30:454-458
- 25). 吉峰史博。右反復性後方脱臼と左ライナー脱転を生じた両側人工股関節症例とライナー脱転の成因について。日本人工関節学会誌 2004:34:85-86
- 26). 吉峰史博、井口理、奥山訓子、森末光、別所祐貴。立位時骨盤後傾患者の臥位における適切なカップ設置位置の検討。整形外科 2004:55:1729-1737

- 27). Yoshimine F. The influence of the oscillation angle and the neck anteversion of the prosthesis on the cup safe-zone that fulfills the criteria for range of motion in total hip replacements. The required oscillation angle for an acceptable cup safe-zone. *J.Biomechanics* 2005:38:125-132 1月
- 28). 吉峰史博, 井口理, 奥山訓子, 森末光, 小崎直人, 別所祐貴. 両側人工股関節患者において右反復性後方脱臼と左ライナー脱転を生じた1例-ライナー脱転の成因について-. *整形外科* 2005:56:61-65 1月
- 29). 吉峰史博, 井口理, 奥山訓子, 森末光, 別所祐貴. 人工股関節においてOscillation angle, ネック前捻角, ネックーステム角がカップセーフゾーンに及ぼす影響 -カップセーフゾーンの適切な大きさを示す至適oscillation angle値-. *整形外科* 2005:56:725-730 6月
- 30). 吉峰史博. 人工股関節における理論上のカップネックインピンジメントまでの可動域とその応用. *岐阜人工関節フォーラム誌* 2005:7:77-82 9月
- 31). 吉峰史博. 使用人工股関節のOscillation angle とネックーステム角、及びカップ、ネック設置位置がカップネックインピンジメントまでの体内可動域に及ぼす影響、*Hip Joint* 2005:31:453-456 10月
- 32). 吉峰史博, 井口理, 奥山訓子, 森末光, 内川伸一. 使用人工股関節のOscillation angle と ネックーステム角 および カップ&ネック設置位置の変化がカップネックインピンジメントまでの体内可動域に及ぼす影響. *整形外科* 2006:57:1279-1285 8月
- 33). 吉峰史博, 井口理, 奥山訓子, 森末光, 内川伸一. 人工股関節におけるカップ前捻角とネック前捻角の組み合わせのセーフゾーンとそれらの最適な組み合わせ. *整形外科* 2006:57:1523-1530 10月
- 34). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 塩野将平. 人工股関節のカップネックインピンジメント点のカップ内位置-Oscillation angle、ネックーステム角の影響. *整形外科* 2006:57:1653-1659 11月
- 35). 吉峰史博. 人工股関節のカップネックインピンジメント点のカップ内位置-Oscillation angle、ネックーステム角の影響. *Hip Joint* 2006:32:350-354
- 36). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 塩野将平. 厳しい可動域条件を満たすカップセーフゾーンに及ぼす人工股関節のネックーステム角の影響. *整形外科* 2006:57:1778-1784 12月
- 37). 吉峰史博. 厳しい可動域条件を満たす人工股関節のカップとネック前捻角のセーフゾーンとその最適な組み合わせ. *日本人工関節学会誌* 2006:36:76-77.
- 38). 吉峰史博. 厳しい可動域条件を満たすカップセーフゾーンにおよぼす人工股関節のネックーステム角の影響. *日本人工関節学会誌* 2006:36:134-135.
- 39). Yoshimine F. The safe-zones for combined cup and neck anteversions that fulfill the essential range of motion and their optimum combination in total hip replacements. *J.Biomechanics* 2006:39:1315-1323
- 40). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 塩野将平. 厳しい可動域条件を満たす人工股関節のカップ前捻角とネック前捻角のセーフゾーンと最適なカップ、ネック設置位置の組み合わせを求める数式. *整形外科* 2007:58:466-473 4月
- 41). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 塩野将平. 人工股関節の通常平坦ライナーに対し2種類の後方脱臼予防用変則型ライナー使用時の可動域変化の特徴. *整形外科* 2007:58:1390-1394 9月
- 42). 吉峰史博. 人工股関節の通常平坦ライナーと2種類の変則型ライナー使用時の可動域の相違点とその特徴. *Hip Joint* 2007:33:203-207 12月
- 43). 吉峰史博. 人工股関節での最大oscillation angleとなるカップ表面円からの回転中心位置. *日本人工関節学会誌* 2007:37:66-67 12月
- 44). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 高尾英龍. 人工股関節全置換術での側臥位固定ポジショナーによると思われる感覚異常性大腿痛に手術的治療を行った1例. *整形外科* 2008:59:1219-1222 9月
- 45). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 高尾英龍. 異なるヘッド径、ネック径、回転中心位置の人工股関節におけるインピンジメントまでの可動域と脱臼までの可動域. *整形外科* 2008:59:1383-1388 10月
- 46). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 原藤健吾, 高尾英龍. 人工股関節にて非円形の断面をもつネックがoscillation angleの大きさに及ぼす有効性. *整形外科* 2008:59:1605-1609 12月
- 47). 吉峰史博, 井口理, 佐々木政幸, 谷川英徳, 伊藤薫子: ヘッド径, ネック径, カップライナーの関節回転中心位置がoscillation angleに及ぼす影響力の比較. *整形外科* 2011:62:368-371, 4月号
- 48). 吉峰史博. 40,45度カップ外方開角における、カップ前方開角とネック前捻角の最適な組み合わせについて、 *Hip Joint* 2011: vol.37:428-431 2011年9月10日
- 49). 吉峰史博, 林俊吉, 池上健, 箱崎彰裕, 伊藤薫子: 40,45度カップ外方開角における、カップ前方開角とネック前捻角の最適な組み合わせ. *整形外科* 2012:63:250-257, 3月号
- 50). 吉峰史博, 特集:人工股関節の脱臼: 過去の研究から脱臼予防への提言. *整形災害外科* 2013:56:1221-1230, 9月
- 51). 吉峰史博, *THA-脱臼防止の工夫-特集号, elevated liner 使用の功罪, 関節外科* 2014: Vol 33. No7 :投稿中